

お互いに支え続け、刺激と力になる同期の絆。

同じ97期として切磋琢磨する西山貴浩選手と池永太選手。レースを語るときは真剣ながらも、面白い話がどんどん飛び出し、それぞれのキャラクターがよく分かる聞き逃さない展開に。終始笑いに包まれた楽しい対談となった。



インタビュー…サカイ選手伝



池永 太

4364 イケナガ フトシ
1985年3月19日生まれ
身長/169cm 体重/54kg
宮崎県出身 福岡支部所属

西山 貴浩

4371 ニシヤマ タカヒロ
1987年5月15日生まれ
身長/169cm 体重/53kg
福岡県出身 福岡支部所属

同期でも仲が良いお二人ですが、初めて会ったときの印象はどうでしたか？

西山 忘れもしないですよ！まだ体格もしていない二次試験で、「うるせえやつだな」と思いました(笑)。隣でいきなり「お前何歳や」と話しかけてきて、「16歳？ モテねえモテねえ、えれ、けえれ」と宮崎弁で言われて全然分からなかったですね。

池永 たくさん人がいる中で、西山は当時からやっぱり目を引く雰囲気だったんですよ。だから、何かしゃべりかけたくなつたんでしょうね。でも、よく覚えとるなあ。

伝ベ 福岡に来て方言はだいぶ話さなくなりましたか？

池永 地元に戻ったときや実家との電話などでは出ますね。

西山 優勝したときか池永さんのお父さんが電話をくれるんですが、半分くらい分かりません。

池永 そうそう。帰省したら父が「西山くんに電話したよ」とうれしそうに言っていて、僕は「また？」って(笑)。

伝ベ 家族も一緒に仲良くつながりがあるんですね。お二人のデビューは2005年ですが、初出走の日は覚えてますか？

西山 うん？ 昨日何食べたかも覚えてないのに、20年前のことなんて…。いや、若松で3着でした。

池永 11月3日、福岡で5着でした。

伝ベ 初優勝のことは？
西山 めちゃくちゃ覚えてますよ。優勝しないと先輩からアイパーにさせられるところだったので(笑)。



池永 太

池永 そういう時代でした。僕はアイパーになったことがあります。

伝ベ あはは。西山選手は昔からムードメーカーなんですか？

池永 養成所時代は西山が一番年下ということもあって、少しおとなしかったんですが隠していたんでしょうね。同級の岡村(慶太)に聞いたら、ずっとうるさかったらしいので。

伝ベ 西山選手のエンターテインメント力でポット界が盛り上がり、ファンも喜んでますよ。

西山 それにはきっかけがあつて。1期上の篠崎(元志)選手が出る開会式で、次の順番が僕だったんです。したら篠崎選手に「キョーキョー」と誰か僕の話なんか聞いてくれなくて、それなら、目に映る目立つことをやってみようって決め、今に至ります。

池永 西山が暴れて皆が笑うじゃないですか。そのあとに出る僕の気持ちも考えたことある？(笑)

西山 それは知らないです(笑)。

池永 まあでも、僕たちが普通にやって行ったら、西山の盛り上がりよりいっそう際立つので、そこは同期として協力するつもりで。

レースについてお聞きしますが、それぞれ感じる弱点はありますか？ また、レーサーとしての心構えや目指していることを教えてください。

池永 弱点…何だろう。自分では分かりづらいなあ。

西山 抽選運ですかね。

池永 確かに。上の人たちはやはり引き寄せるといふか。自分は大きな大会ほど引かなくなるので。

西山 佐藤隆太郎とかすごいですが、僕もあのヒゲにしようかなと思いません。

伝ベ もし、いいモーターを引いても自分の体感に合わない場合もありますし、レースに向けてどのように気持ちをつくるんでしょうか？

西山 とりあえず調整するのみですね。どんな状況でも狙うのは1位で、僕はまくり1本です。



池永 できる限りのことをして、まず不安要素を取り除いていきます。そして、気持ちいいのはまくりですが、勝つのは何でも気持ちいいです。

伝ベ 福岡の3コースのイメージはどうですか？ やはり攻め手になるんでしょうか？

西山 それはツケマイでしょう。うねりは難しいですが行くしかない。

池永 河川に隣接しているんで、うねりは仕方ないです。そこに行くから価値があります。

伝ベ 福岡の6コースはかなり1着率が低いですが。

西山 めちゃくちゃ遠い！

池永 遠いですね、本当に…。

西山 もう前づけしかない。

池永 逆に2コースは走りやすい感じですよ。水面によっては差し切れることもありますからね。

西山 うねりは本当に怖いので、フ

ンの皆さんにも知ってもらいたいなあ。「うねりツアー」とかして。

池永 うねりの先が見えないときはかなり恐怖ですよ。福岡は狭くて圧迫感があるから、景色的な問題もあるかもしれない。いざいざにしても地元選手が有利ではないかと。

西山 福岡は…好きか嫌いかで言うと、好きではない(笑)。

池永 僕は好きだけど、行くのは怖い…と思いつつ、でも行く！

西山 自分はけっこう病院送りにもなっていますが、スタートしたらやっぱり行っちゃつてますよ。

伝ベ レーサー魂ですね。

シビアな世界で戦われているお二人ですが、お互いの好きなところは？ 同期の皆さんとは今も仲が良く、一緒に旅行に行かれるそうですね。



西山 貴浩

池永 西山はレースでも、他のことでも、口に出したら必ずやります。

西山 言ったらするしかないんで、そのほうがラクなんです。池永さんの良いところ…2時間くらい考える時間もらっていいですか？(笑)

池永 いっぱいあるやろ！

西山 優しくして後輩への面倒見も良いところですかね。あと、けっこう天然なんです。まだ僕が運転免許を

持っているんですけど、1年間うちの実家に一緒に住んでいたんですが、父の車を借りて池永さんの運転で出かけたんです。そしたらバックするときにガリガリガリって。止まればいいのに気にせず下がりが続いているんですよ。父ももう好きなんだけづけて、いと諦めていました。

池永 西山の両親は本当に優しいです。同期は皆、息子みたいにお世話になってます。

西山 同期の旅行は、土屋(智則)がSG優勝したときに「どっか連れていけ」となって、それから毎年北海道に行っています。

池永 皆でリフレッシュします。基本ノープランでのんびり。

西山 せっかく北海道にいるのにポウリングを45ゲームもやって、翌日も左手で投げたり、部屋でラーメンを作って「やっぱり札幌で食べると旨い」

ボートビートプレス特別編集長

サカイ選手伝の

ボートレース愛がとまらねえ〜!

ども、特別編集長のサカイ選手伝です。今回は、僕がレースではなく、ボートレースの好きなお話についてお話しします。それは、オープニングセレモニーです。選手が名前を呼ばれて登場してくるのですが、そのファンの熱気と選手の熱意が生み出す化学反応は、他ではなかなか見ることができない独特の雰囲気だと思います。そこに自然と生まれる「熱量」が、今のボートレースの人気の高さに繋がっていると感じています。そして個人的にマニアックな部分で好きな選手の仕草は、インタビューの時に選手が話す前にマイクをコンコンとやるところこの仕草が、なんとも言えず好きなんです。今の時代、マイクには絶対に音が入っているので、思わず笑ってしまいます。さあ、11月のセレモニーでは、福岡でとんでもない「熱」を体験しましょう。

サカイ選手伝

吉本興業所属「オシャレが止まらねえ」なボートレース芸人。ボートレース福岡のYouTube予想会にも出演中!的中率の高さは随一!「博多的中王」と自称する。

シンクロナイズド

2人が交互に一筆ずつ描き、心を通わせて同じ絵を描けるかを試す企画。通じ合う2人なら、何を描きたいかもきっとわかるはず!

何の絵を描いたのか気になる方は動画をチェック!

プレゼント企画は裏表紙をチェック!

ナルホド DATA

お二人にここでしか聞けない質問をしてみました!

Q.得意なレース場はどこですか?

池永	得意な水面は福岡
西山	得意な水面は若松・大村
池永	福岡水面は好きだけどうねりが…!
西山	福岡水面は大っ嫌い!!ウソウソタイスキデスヨ!

Q. 西山選手SG初優勝の思い出は?

応援する側もドキドキしながら、大丈夫、大丈夫と言いながら仲間と正座して見ていました。西山のSG初制覇に勇気づけられ、今年の初Vを若松で飾ることができました。

緊張感とプレッシャーはすごかったのですが、1マーク回って、差を潰せば行けると確信しました。ゴールしてスタンドからの大きな歓声とあの景色は目に焼きついています。

池永選手の選手データはこちらから!

西山選手の選手データはこちらから!